

講義名	公衆衛生学
開講学年	1 年
単位	2

授業の達成目標	栄養士・管理栄養士として必要な、公衆衛生学の知識を得ることと、栄養士としての必要性について理解をする。
授業の概要	健康は、個人の努力だけでなく、社会的な背景も強く関係する。その社会が個人の健康に及ぼす影響やその影響を統計・疫学から測ることを学ぶ
授業形式	講義

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	社会と健康	健康・公衆衛生の定義	WHO・ウィンスローの公衆衛生の定義
2	環境と健康	生態系と人々の生活	生体濃縮
3		環境衛生	水質汚濁基準
4	統計	保険統計の概要	
5		人口静態統計	国勢調査
6		人口動態統計	出生率・死亡率
7	疫学	疫学指標の種類と特徴	コホート研究
8		EBM の必要生	エビデンスレベル
9	ライフスタイルの現状	健康に関連する行動と社会	NCDs の概念
10		喫煙・飲酒・睡眠・歯科口腔	
11	主要疾患	がん・循環器系	がん対策
12		代謝疾患・感染症	高血圧、脳血管疾患
13		精神疾患	認知症
14	医療福祉制度	社会保障の概念	データヘルス計画
15	まとめ	まとめ	

事前・事後学習の内容	順次教科書の前半から授業は進めていくため、予習をしておく。当日学んだことを自身で身近なことと関連して考える。
成績評価の方法	テスト 100%

	評価基準は合計 90 点以上：S、85～89 点：A+、80～84 点：A、75～79 点：B+、70～74 点：B、65～69 点：C+、60～64 点：C、60 点以下：D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2 / 3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	
教材	教科書（公衆衛生学・健康管理概論：第一出版）